

## 宮川内谷川総合開発事業の概要

宮川内谷川は、土成町の阿讃県境に源を発し、八丁谷川等を合流しながら、吉野町、上板町を東に向かって下り、板野町で旧吉野川に注ぐ流域面積73.6km<sup>2</sup>、流路延長19.0kmの一級河川です。

流域は、吉野川北岸の少雨地域であり、降雨量は比較的少ないために深刻な水不足が起こり易い一方、少雨地域にもかかわらず梅雨期、台風期には降雨量が多く、洪水被害も起こり易いため、治水及び渇水の対策が強く望まれ、その結果宮川内ダムが昭和39年に完成しました。

しかし、最近の宮川内谷川中・下流部の沿川は急速に市街化が進んでいるため、洪水被害が増大する可能性があり、洪水被害の軽減対策が不可欠となっています。そのためには、新たなダムを建設し、洪水調節をすることが必要となります。

また、土成町は近年、人口が増加傾向にあり、これに伴う水道用水の需要が急増することが予測されており、新たな水源をダムに求めようとするものです。

このように治水、利水の両面における必要性から、宮川内谷川の支川八丁谷川において相坂ダムを建設するとともに既設の宮川内ダムを改造しようとするものです。

## 事業の目的

### 1. 洪水調節

相坂ダムの洪水調節方式は自然調節方式とし、ダム地点における計画高水流量240m<sup>3</sup>/s(確率年1/70)のうち190m<sup>3</sup>/sを調節します。また、宮川内ダムの洪水調節方式は一定率一定量方式であり、ダム地点における計画高水流量340m<sup>3</sup>/s(確率年1/70)のうち140m<sup>3</sup>/sを調節します。

これら2ダムの洪水調節効果により治水基準点(高樹)において、計画高水流量を602m<sup>3</sup>/s(確率年1/70)として238m<sup>3</sup>/sの洪水の軽減を見込んでいます。

### 2. 流水の正常な機能の維持

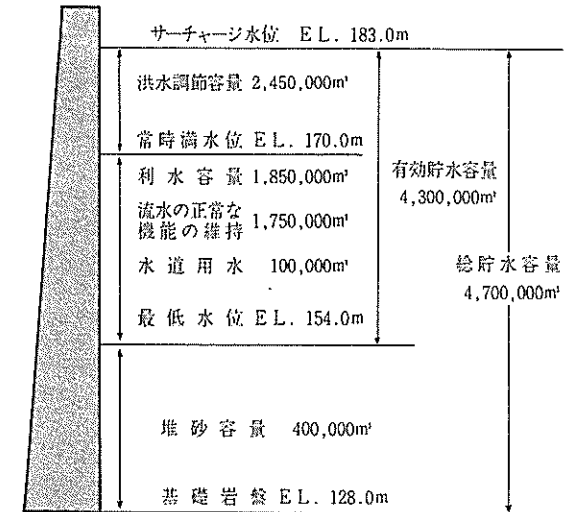
既得用水の補給等流水の正常な機能の維持と増進を図るため、利水基準点(神田橋)において0.082m<sup>3</sup>/sの流量を確保します。

### 3. 水道用水

板野郡土成町の水道は、吉野川の表流水を利用して、1日最大7,000m<sup>3</sup>の給水能力を持っていますが、宅地開発等による人口の増加及び下水道計画により、水道用水の需要が急増するため、近い将来には水不足が見込まれます。そこで、土成町への水道用水として新たに日量500m<sup>3</sup>をダム地点で取水可能にします。

## 相坂ダム

|        |                         |
|--------|-------------------------|
| 河川名    | 吉野川水系八丁谷川               |
| 位置     | 徳島県板野郡土成町相坂地先           |
| 型式     | 重力式コンクリートダム             |
| 地質     | 砂岩                      |
| 堤高     | 58.0m                   |
| 集水面積   | 10.2km <sup>2</sup>     |
| 湛水面積   | 0.25km <sup>2</sup>     |
| 洪水時満水位 | E.L. 183.0m             |
| 常時満水位  | E.L. 170.0m             |
| 総貯水容量  | 4,700,000m <sup>3</sup> |
| 洪水調節容量 | 2,450,000m <sup>3</sup> |
| 利水容量   | 1,850,000m <sup>3</sup> |



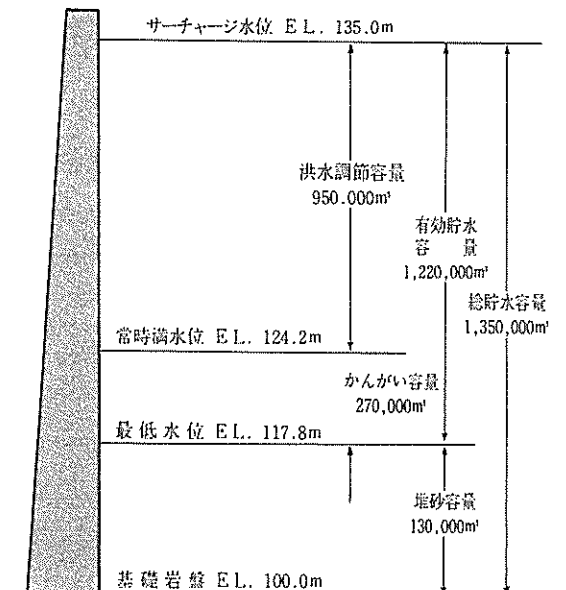
## ダム及び貯水池の計画諸元

## 貯水池容量配分図

## 宮川内ダム(改造後)

( ) : 改造前

|        |                                                    |
|--------|----------------------------------------------------|
| 河川名    | 吉野川水系宮川内谷川                                         |
| 位置     | 徳島県板野郡土成町宮川内                                       |
| 型式     | 重力式コンクリートダム                                        |
| 地質     | 砂岩及び砂岩粘板岩互層                                        |
| 堤高     | 36.0m(36.0m)                                       |
| 集水面積   | 23.1km <sup>2</sup> (23.1km <sup>2</sup> )         |
| 湛水面積   | 0.13km <sup>2</sup> (0.13km <sup>2</sup> )         |
| 洪水時満水位 | E.L. 135.0m(E.L. 135.0m)                           |
| 常時満水位  | E.L. 124.2m(E.L. 130.6m)                           |
| 総貯水容量  | 1,350,000m <sup>3</sup> (1,350,000m <sup>3</sup> ) |
| 洪水調節容量 | 950,000m <sup>3</sup> (950,000m <sup>3</sup> )     |
| 利水容量   | 270,000m <sup>3</sup> (770,000m <sup>3</sup> )     |

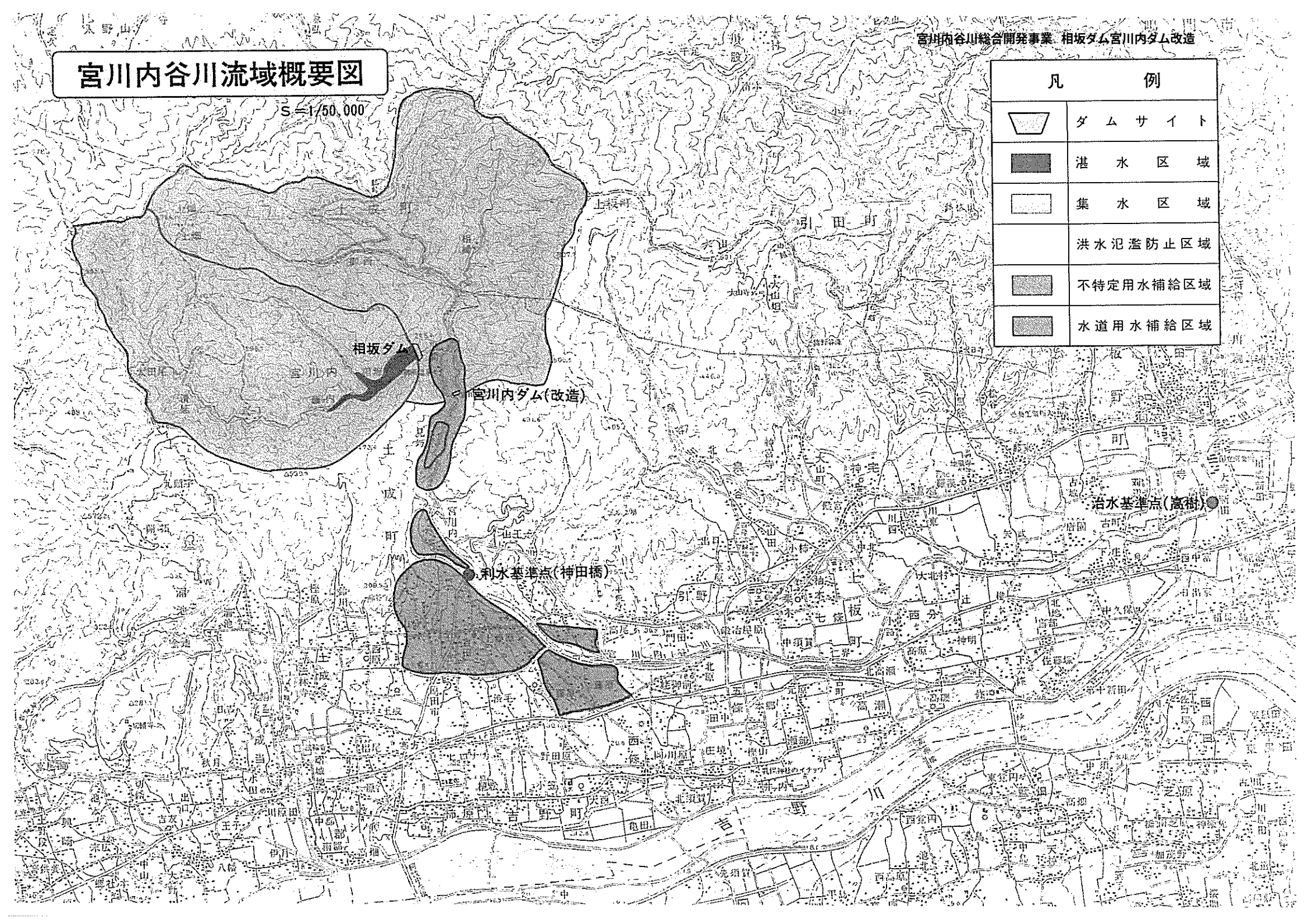


# 宮川内谷川流域概要図

S=1/50,000

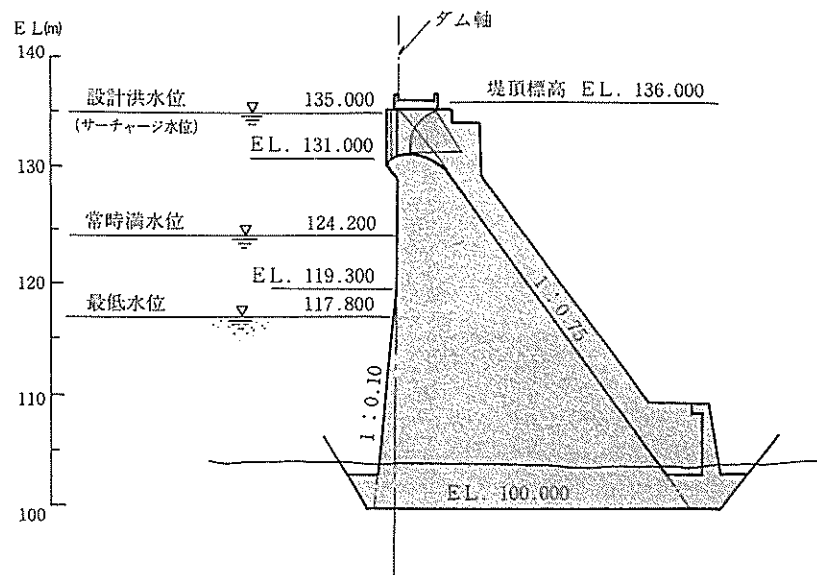
宮川内谷川総合開発事業 相坂ダム宮川内ダム改造

| 凡                                                                                   | 例         |
|-------------------------------------------------------------------------------------|-----------|
|  | ダム サイト    |
|  | 湛 水 区 域   |
|  | 集 水 区 域   |
|                                                                                     | 洪水氾濫防止区域  |
|  | 不特定用水補給区域 |
|  | 水道用水補給区域  |

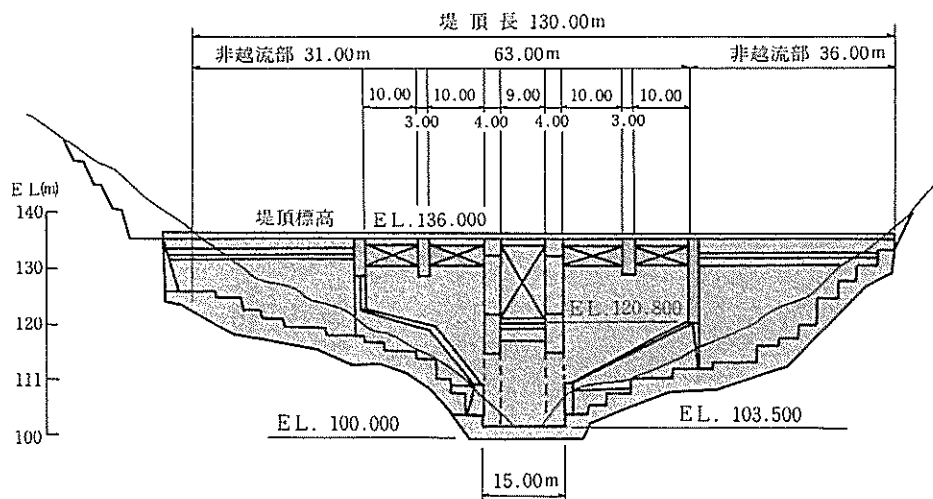


# 宮川内ダム改造

## 標準断面



## 下流面

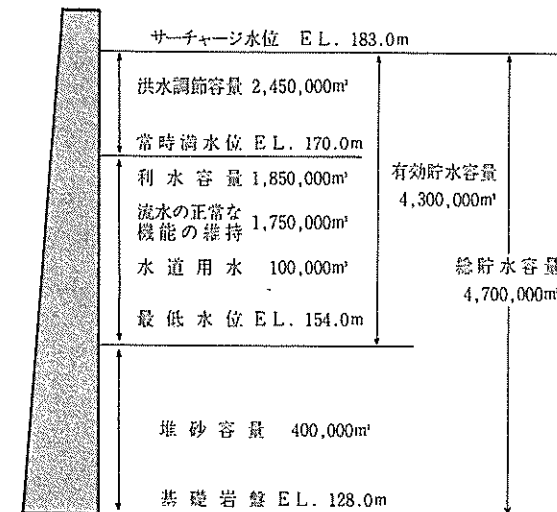


注) は改造部分を示す。

宮川内谷川総合開発事業 相坂ダム宮川内ダム改造

## 相坂ダム

|        |                         |
|--------|-------------------------|
| 河川名    | 吉野川水系八丁谷川               |
| 位置     | 徳島県板野郡土成町相坂地先           |
| 型式     | 重力式コンクリートダム             |
| 地質     | 砂岩                      |
| 堤高     | 58.0m                   |
| 集水面積   | 10.2km <sup>2</sup>     |
| 湛水面積   | 0.25km <sup>2</sup>     |
| 洪水時満水位 | E.L. 183.0m             |
| 常時満水位  | E.L. 170.0m             |
| 総貯水容量  | 4,700,000m <sup>3</sup> |
| 洪水調節容量 | 2,450,000m <sup>3</sup> |
| 利水容量   | 1,850,000m <sup>3</sup> |



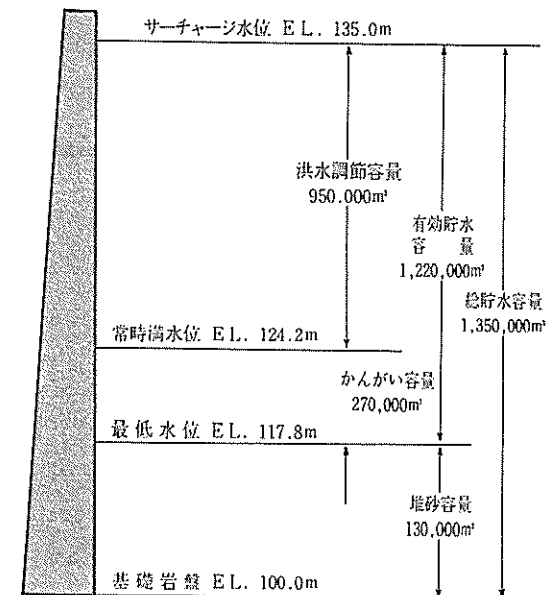
## ダム及び貯水池の計画諸元

## 貯水池容量配分図

## 宮川内ダム(改造後)

( ) : 改造前

|        |                                                    |
|--------|----------------------------------------------------|
| 河川名    | 吉野川水系宮川内谷川                                         |
| 位置     | 徳島県板野郡土成町宮川内                                       |
| 型式     | 重力式コンクリートダム                                        |
| 地質     | 砂岩及び砂岩粘板岩互層                                        |
| 堤高     | 36.0m (36.0m)                                      |
| 集水面積   | 23.1km <sup>2</sup> (23.1km <sup>2</sup> )         |
| 湛水面積   | 0.13km <sup>2</sup> (0.13km <sup>2</sup> )         |
| 洪水時満水位 | E.L. 135.0m (E.L. 135.0m)                          |
| 常時満水位  | E.L. 124.2m (E.L. 130.6m)                          |
| 総貯水容量  | 1,350,000m <sup>3</sup> (1,350,000m <sup>3</sup> ) |
| 洪水調節容量 | 950,000m <sup>3</sup> (950,000m <sup>3</sup> )     |
| 利水容量   | 270,000m <sup>3</sup> (770,000m <sup>3</sup> )     |



宮川内谷川は、川幅が下流部程狭いいわゆる逆性的河川であるため、中、下流地域は台風等による洪水被害をたびたび受けています。



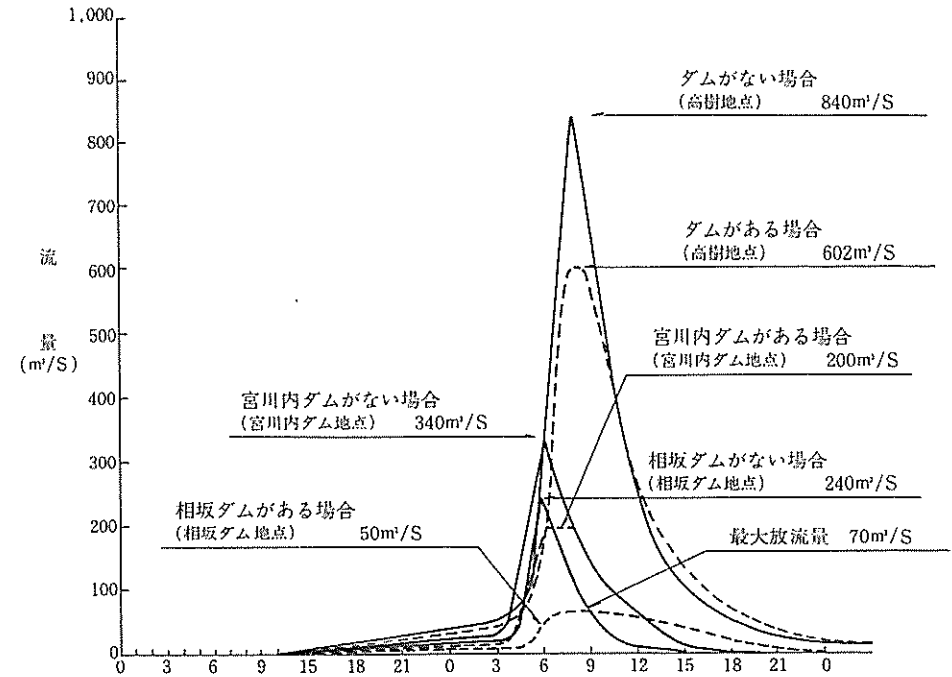
昭和50年 8 月 台風 6 号による増水状況（立花橋の直上流）

宮川内谷川流域は吉野川北岸の少雨地域であるため、しばしば渇水が起こっています。



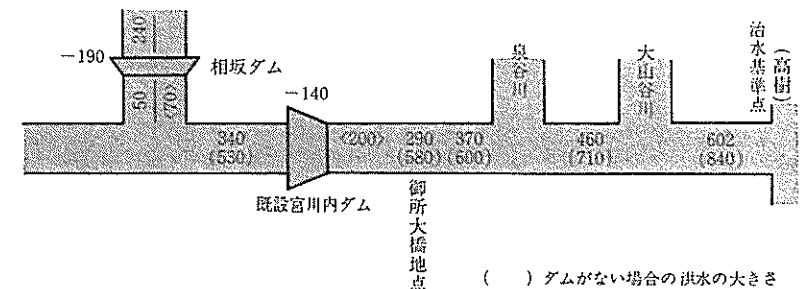
昭和57年 6 月 水田の干害状況

## ● 洪水調節図 ●



## ● 計画高水流量配分図 ●

(ダムができた場合の洪水の大きさ)



( ) ダムがない場合の洪水の大きさ  
< > ダムからの最大放流量

単位: m³/S